

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 (光村図書 1年下)

2 単元目標

- 物語全体から「やさしさ見つけ」をすることを通して、優しさの表現の仕方に気付かせたり、ぼくの家族とは異なるエルフへの優しさ・愛情を感じとったりすることができる。
- 本教材『ずうっと、ずっと、大すきだよ』を読み、「やさしさ見つけ」の活動を楽しむことを通して、優しさの表現の仕方がたくさんあることを知る。
- 物語を読んで話し合う時に、順番を待って発言をしたり、最後まで友だちの発言を聞いたりすることができる。

3 指導上の立場

○教材観

本教材『ずうっと、ずっと、大すきだよ』は、主人公「ぼく」と愛犬「エルフ」との心の交流がえがかれた作品である。ぼくも家族も、エルフをととても大切に思い、様々な仕方で優しく接する。しかし、ぼくには家族と異なるエルフのかわいがり方がある。それは、「ずうっと、大すきだよ」と、実際に言ってやることである。児童には、ぼくと家族の様々な愛情・優しさを感じ取らせ、この物語独特の世界に浸らせたいと考える。

児童はこの作品に出会うと、ぼくと家族の優しさを直観する。そこで、その直観をもとに、「優しさを見つけよう」という課題をつかみ、物語全体から優しさを読み味わう。こうした読みは、物語全体から優しさを見つけたら、見つけた優しさを比べたりという読み方が支えとなる。したがって、本教材は、丸ごと読みするのにふさわしい教材であると考えます。

○児童観

削除しています。

○研究テーマとのかかわり

心を開き、思いや考えを言葉で伝え合う子どもの育成 ～国語科の学習を通して～

①発問の研究

丸ごと読みの学習では、児童が課題に対して見つけた考えを発表し合う時間の占める割合が大きい。そこで、児童が見つけたことを広げたり、深めたりできるような発問を準備したい。

そのために、十分な教材研究をしておき、授業の中で児童が見つけた考えに対して、補助発問や揺さぶり発問をするようにしたい。

②学習形態についての研究

1年生の中では発表に対して、積極的な児童と、恥ずかしさが先に立って発表できにくい子がいる。そこで、授業の始まりからコの字型に机を並べ、友だち同士の顔が見える安心した状態で授業を行う。

自分の考えがある子は、すぐに口に出してしまう傾向にあるので、発表の時には手を挙げて発表

すること、友だちが発表する時は、手悪さをせず静かに聞くことを意識させ、集中して授業が受けられる集団を育てたい。

○本単元による指導法の工夫

(1) めあてをつかむ

- ・最初の範読を聞いたあと、音読練習を家庭学習等で十分行い、すらすらと読めるようになり、話の内容が頭の中に十分入ってから丸ごと読みの学習に入る。
- ・挿絵をもとに作品の概要をつかませた後、感想を短いことばで発表させる。様々な感想がもてたことを認めた上で、ぼくと家族の人物像を直観させ、「丸ごと読み」のめあてをつかませるようにする。

(2) 自分の読みをもつ

- ・はじめに、教材文への書き込みの仕方（ハートマークの書き方ややさしさの理由の書き込み方）を丁寧に指導し経験させる。
- ・ぼくと家族の言動について、優しいと感じたところにハートマークを付けさせる。可能な児童には、ハートマークの横に理由を少しずつ書き加えさせるようにする。
- ・子どもの発達段階と「丸ごと読み」の入門期であることを考え、場面ごとに分け「丸ごと読み」を展開する。
- ・活動がしやすいように、学習を1枚物にしたワークシートを用意する。出典が絵本であることから挿絵も大切にしたいと考え、ワークシートに挿絵を入れておく。

(3) 読みを確かめる

- ・児童に配布したワークシートと同じ用紙を拡大して掲示し、児童の発表をそれに位置づける。
- ・特徴的な優しさを短冊に書いて掲示しておき、本時の優しさと比べやすくしておく。
- ・物語全体にわたって「やさしさ見つけ」の活動を行うことと並行して、特徴的な優しさについて詳しく読む。

(4) 生活読書に広げる

- ・第3次では、「優しさ」の描かれている本『つきのよるに』を読み、「優しさ見つけ」を行う。見つけた優しさに付箋を貼っていき、自分のベスト1の発表会を行うことで読みの交流を図る。様々な優しさに気づかせたり、優しさをたくさん見つけられたことを賞賛したりして、さらに、丸ごと読みの経験を積ませるようにする。

4 指導計画（全7時間）

	学 習 活 動	支 援 と 評 価
第1次 (2) 丸 ご と 読 み の め あ て を つ か む	第1・2時 物語のあらすじをつかみ、「丸ごと読み」のめあてをつかむ。	○挿絵を並べたり登場人物を発表させたりすることで、物語のあらすじをつかむことができるようにする。 ○挿絵を見て、だれが何をしているかを発表させることで、ぼくとエルフの関係を大まかにとらえることができるようにする。 ○言葉の学習をする。 ○「ぼくと家族はどんな人か」を話し合ったり、感想を短い言葉で発表させたりすることで、「丸ごと読み」のめあてをつかむことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ・人物について感想をもつ。(観察・ワークシート) </div>
第2次 (3) ぼ く と 家 族 の 優 し さ を 見 つ け る	第1時 ①の場面を読んで、「やさしさ見つけ」の活動をする。	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「やさしさ見つけ」をしよう。 </div> ○学習場面の前半の文章を読み聞かせ、優しいとわかるところに挙手し、ハートマークの書き方を練習させ、全員で「やさしさ見つけ」の学習の仕方を身に付けさせる。 ○ワークシートに、ぼくと家族のエルフに対する優しさがわかるところにハートマークをつけさせることで、自分の読みを持つことができるようにする。 ○優しさのわけが書ける児童には書き込みをしてもよいことを伝える。 ○見つけた優しさについて話し合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくたちはいっしょに大きくなった ・エルフのあったかいおなかを、いつもまくらにするのがすきだった ・エルフのことが大すきだった ○「エルフをしかっていないながら、みんなは、エルフのこと、大すきだった。」の文を取り上げ、家族のエルフに対する行動を想像させ、ぼくだけでなく家族みんなの優しさを読ませる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ・ワークシートにハートマークを書くことができる。 (ワークシート) ・見つけた優しさを発表することができる。 (観察・発言) </div>

	<p>第2時（本時） ②の場面を読んで、「やさしさ見つけ」の活動をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">「やさしさ見つけ」をしよう。</div> <p>○2つの活動は同じ。 ○見つけた優しさについて話し合わせる。 ・してあげる優しさ ・言うてあげる優しさ ○「エルフはきっとわかってくれたよね」の文を取り上げ、僕の気持ちがエルフに届いているか話し合わせることで、僕の優しさ確かめさせる。 ○エルフの気持ちを手紙に表し、まとめとする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・ワークシートにハートマークを書くことができる。 （ワークシート） ・見つけた優しさを発表することができる。 （観察・発言）</p> </div>
	<p>第3時 ③の場面を読んで、「やさしさ見つけ」をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">「やさしさ見つけ」をしよう。</div> <p>○2つの活動は1・2時と同じ。 ○見つけた優しさについて話し合わせる。 ・ずっと思いつづけるやさしさ ○「『ずうっと、ずうっと、大好きだよ。』って。」の文と題名を取り上げ、誰が誰に言った言葉か話し合わせるにより、死んでしまった後もずうっと大好きな気持ちや優しさを読み味わわせる。 ○エルフへ手紙を書いて、まとめとする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・ワークシートにハートマークを書くことができる。 （ワークシート） ・見つけた優しさを発表することができる。 （観察・発言）</p> </div>
<p>第3次 (2) 他の作品を読む</p>	<p>第1時 「優しさ」の描かれている本『つきのよるに』を読み、「やさしさ見つけ」の活動をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">「やさしさ見つけ」をしよう。</div> <p>○「優しさ」の描かれている本を読み、「やさしさ見つけ」をする。 ○「やさしさ」が分かるところに付箋を付けながら読ませ、その中で自分のベスト1を決める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・学習を生かして、楽しんで読むことができる。（観察） ・優しさを見つけることができる。（観察）</p> </div>
	<p>第2時 読みの交流を行う。</p>	<p>○読みとった優しさを発表し合ったり、友だちの読みへの感想を発表し合ったりすることで読みの交流を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・見つけた優しさを発表することができる。（発言・観察）</p> </div>

5 本時案 (第2次 第2時)

<p>目 標</p>	<p>学習場面を読み、エルフに対するぼくと家族の優しさがわかるところを見つける活動を通して、エルフが年をとっても変わらない大好きな気持ちやいろいろな優しさを読みとることができる。</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>評価</p>
<p>1 学習場面を音読し、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 ぼくと家族の優しさがわかるところを見つける。</p> <p>3 めあてについて話し合う。</p> <p>主発問①</p>	<p>○前時に見つけた優しさや数を確認することで意欲づけをする。</p> <p>○前時の場面と本時の場面のエルフの変化についておさえておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「やさしさ見つけ」をしよう。</p> </div> <p>○学習範囲を1枚のワークシートになるように印刷しておく。</p> <p>○1文ずつ範読し、優しさがあると思うところにハートマークを付け、「やさしさ見つけ」の見通しを持たせる。</p> <p>○学習範囲を一人読みし、自分のペースで見つけたところから、ハートマークを付けさせる。可能な児童には、ハートマークの横に優しさのわけを書き込ませ、優しさの違いに気付かせるための手がかりとする。</p> <p>○ハートマークがついたところを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぼくのやさしさがわかるところはどこでしたか？ わけも言える人は言いましょう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">予想される発表</p> <p>(文から) ・ぼくはとてもしんばいした ・じゅういさんにつれていった ・やわらかいまくらをやった ・かならず「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」って、いってやった</p> <p>(絵から) ・さんぽに連れていく ・笑った顔で話しかけている ・階段をだっこしてあげる</p> </div> <p>○子どもの発言を受けてピンクのハートマークをつけたり、やさしさのわけを書き込んだりして板書に位置づけ、多様な優しさに気付くことができるようにする。</p> <p>○今まで見つけたやさしさに照らして、本時で見つけた優しさを話し合わせる。新しい優しさがあればそれに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなが発表してくれたところは、昨日と同じ優しさか確かめましょう。</p> </div>	<p>・ハートマークをつけることができる。 (ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Cの子への手だて ぼくがエルフにしてあげたことを確認させ、なぜそのような行動をしたのかを考えさせる。</p> </div> <p>・自分がつけたハートマークや理由を自分の言葉で伝えることができる。 (発言・観察)</p>
<p>主発問②</p>	<p>みんなが発表してくれたところは、昨日と同じ優しさか確かめましょう。</p>	

補助発問と予想される発表

Q1 : 「ぼくはとてもしんばいした。」のところはみんな優しいと言ったけど、昨日と同じ「やさしいの仲間」に入れてもいいですか？

A1 : いい。心配するのは思ってあげるやさしさだから。

A2 : 心配したから獣医さんにつれていったんだよ。

Q2 : 「ぼくのへやでねなくちゃいけないんだ」のところは階段を上れないんだったら下でねればいいんじゃないですか？

A1 : いけない。寒いから。

A2 : 寝る場所もないし、やわらかいまくらもないから。

(してあげるやさしさ)

Q3 : 「エルフ、ずうっと、大好きだよ。」のところはどうですか？

A1 : 自分の気持ちをちゃんと伝えてあげたからやさしい。

4 本時のまとめをする

○「エルフは、きっとわかってくれたよね。」の文を取り上げ、エルフの心の中を想像して、ぼくの優しさのまとめとする。

5 評価

- A 見つけた優しさを発表することができる。
- B ワークシートにハートマークをつけることができる。
- C ハートマークをつけることができない。